夕刊
磐城新聞
九月四日發行
（月曜日祭日翌日休刊）

長崎瞥見

エッチ・エス生

一

日本文化萌發の搖籃地たる、長崎市は人口二十二萬餘を有し、福岡市に亞ぐの大都市にして、其の東南北の三方は繞らす山岳丘陵を以てし、西方僅かに海に接する所が卽ち長崎港である

市街は擂鉢型の一大盆地にして、街衢はその底部にありて、四圍の山岳は殆んと住宅と特殊の建物とが順次山麓から中腹或は頂上まで連擔接續して建設せられ一見八幡市若しくは佐世保市の夫れに酷似してゐる。若しそれ夕闇迫る晩凉を逐ふて、公園のベンチより遠望すれば、大小の電燈は燦々として恰も滿天の星斗一時に地に隕ちたるかと疑はるゝばかり、其景觀の美は到底他地方に於て見ること能はざる自然的電燈美であらう

市內はあらゆる文化的設備の完備せられるものなきも、就中予の眼に映じたるは、大通りは勿論如何なる小路や裏道に至るまで街路の全部は之れを鋪裝して餘す所なきのみならず、大小の下水や溝渠も亦た、兩側及び庭部をコンクリート裝置と爲したるため、排水極めて良好にして且つ淸潔なること實に羨望に堪へざるものがある

長崎は風光の美と、氣候の溫と、物價の廉とを以て夙に外人間に世界の樂土と稱揚せられた處だと聽いてゐたが、今實際來て見ると只た風光明媚なる點を措ては氣溫の如き夏時三十四五度を昇降し、日用必要品たる野菜類の如きも亦た非常に高價である。尤も土地其のものが山岳地帶で耕地に利用すべき平野に乏しきため、自然生産不足を告ぐる結果であらうが、今更聞いて極樂見て地獄の感なき能はずである

南蠻船が始めて長崎港に錨を投じたのは元龜元年の昔であつて、德川氏の鎖國以後も此處のみは例外とせられたので、外國交通の唯一の門戶として西洋の文物は皆此地を經由して日本に入つたので、當時江戶を初め各地から多數の學生が留學して西歐の新知識を吸收したこと今日に於ける歐米遊學と同じ譯であつたのである

異人馬車

上原淸

かたことゝ
馬車が通るよ
黑ぬりの
光つた馬車だよ
年とつた
馬がひいてる
ひげの白い
やせてる馭者さん
異人さん
窓から見てたよ
金髮の
きれいな女だよ
追ひかけて
花をあげたら
うれしさに
ア・リ・ガ・タ・ウ笑つてたよ

雜愁吟

中川化生

○陸軍の拂下げたる赤靴にクリーム塗りて子は旅に發つ
○子が望む英和辭典購はず己れ欲る古本かひて下心に愁ひをり
○句など詠み投書する子の行爲を見れば己れも若くしかありき
○中學を漸く卒へし長男は學生服のまま勤めには出づ
○嫗がいふ生活の嘆きうべなへと蔑ひたつへき時は過ぎたり
○曇り日の公園に來て竹林の搖れのゆたけきに心足りつも

高原に立ちて

林柳波

下

日が翳ると千茅と野茨の叢から、ふわふわと蛾が一羽飛んで出た。迷つてゐるのだ、氣味の惡い羽づかひだ

人里近くなると虻が頻りに舞ひ、馬蠅が飛び、みちしるべ（蒿菁の一種）が背中の五彩を翳かし乍ら人の先へ先へと飛んで歩道の上に止る。油蟬が一齊になき出すと木立の多い人家の森が處々に見え始める

日ぐれ方、旅館の廊下に籐椅子を出して遙かの山脈を眺めてゐると後山で日ぐらしがしきりになく。其の聲は遠くなり、近くなり銀鈴の如く降るが如くだ

夕闇の中を小川の邊にゆくと、みゝずが鳴くおけらが唄ふ、蛙が笑ふ、之等の聲々は幽に入亂れて金線の如く細く、銀糸の如く淸く木魚の如く素朴だ

夜の羽蟻、晝の蛇、蜥、毛虫の類はどうも性に合はぬが、鳴虫の聲は何れも美しい

私は今高原に立つて是等の聲を滿喫してゐる

風

白樺の梢はるかに今、颯爽と白日の光が閃めいてゐる。ポプラの葉枝にも、唐松の枝にも、水楢の大樹にも、一瀉千里の秋風が越後の國へと急ぎつゝある

風は木に咲いてグリーンライトとなり、ワイセストスーレンとなり而して山嶺のコーラスを指揮する

高原は今、風によつて秋の詩曲を奏しつゝある。颯と日光とは相混じ相交錯して高原を包む萬山の美は更に崇高を極める

『靑陸』から

小笠原進草

登山笠あからさまなる燈下かな
水番の瀨音に紛れ唄ひをり
登山笠ぬぎかさねたる框かな
打粉濃き顏をすりつけ乳吸へり

和田文夫

咲ききつてゆるがぬ花をあほぎけり
暮れのこる花の白さにあゆみをり

9月5日　△朝鮮役、明との談判破裂（慶長元）△柳澤淇園歿す（寶曆八）△西南役、鹿兒島城包圍（明治一〇）△東京市電總罷業に入る（昭和一〇）

小說　高橋是淸

松浦泉三郎作　佐々木今朝吉畵

（110）特許道中（五）

いつの間にか夏が來てゐた

是淸は七月半ば過ぎ、ベルリンに渡つて、獨乙に於ける制度組織の調査を進める傍ら、英米で蒐めた材料の整理を急いだ

再度ロンドンに歸り、半月餘の滯在の後、ロンドンを發し、航程五十日、横濱に歸着したのは、明治十九年十一月廿六日、日本には冬の風が吹いてゐた

歸朝匆々、旅の疲勞を休める間もなく、商標、特許意匠三條令の起案に着手し同時に特許局の獨立運動に手を染めた

從來特許と商標とに關する事務は、農商務省工務局內の專賣特許所と商標登錄所で取扱つて來たのを、是淸の在米中、十九年二月十六日、勅令第二號を以て、農商務省內に專賣特許の一局を置く事になつたもので、これが、日本で工業所有權保護に關する、特別の局の設けられた最初だつた

然し是淸は、諸外國に於ける實狀に鑑み、更に一歩を進めて、これを獨立せしむべきである。と考へたのである

運動には無論困難が伴なつた。然し屈せず八方力說した結果、遂に翌廿年十二月、勅令第七十三號を以つて、農商務省專賣特許局の廢止となり、獨立特許局の誕生を見、初代特許局長を拜命した

局長の椅子に納つたなりで、落付いてゐられる是淸では無論なかつた。獨立した上からは、內容の充實こそ當面の急務である。既に在米中からの腹案があつたそれは、少くとも米國特許院の、小型のものを作りたい希望だつた

で直に官制改正を行ひ、局內に庶務部、檢查部審判部及陳列室を置く事とし、一方特許局新築の運動を進めた

新築費用は大體十二萬圓を要する事が判つた。農商務省杉山會計局長の手許に留めておいた。八萬圓の剩餘金の他に、尙四萬圓の不足を告げてゐた

是淸は杉山局長と相談の上、大藏省に松方（正義）藏相を訪ひ、不足額四萬圓の援助方を懇請した

松方藏相は詳細な是淸の說明を聽取すると、卽座に

『宜敷い！』

と、快諾を與へて呉れた

是淸は直ぐに完全な設計圖の完成を急がせた、完成した頃に、農商務大臣は井上馨に替つてゐた

提出された設計圖を見つゝ井上農商相は、是淸を直視しながら

『こんな大きな建物を一體何年これを使ふ心算か？』

半ば呆れ顏で言つた。是淸は、

『先づ今後廿年です』言つて對手の顏に微笑を注ぐと『これは私の念願です。廿年後この建物が狹隘を感ずるやうになつてこそ、初めて我が發明界は進歩せりと言ひ得るでせう。東京見物に上京する地方の遊覽客が淺草の觀世音に參拜の後、扨今度は特許局を見物しやう、と言ふまでにしたいと思つてゐます』

と、淀みなく陳べた

『アッハッ……。そりや愉快ぢや』

と、井上農商相は頰をかゝへて哄笑しながら、

『宜敷い。同意しやう。大いにやるが宜い、但しかうした建築には、種々裝飾外柵等に餘分の費用がかゝるものぢや。そこで、十二萬圓中十一萬圓を建築費として大倉組に請負はせ、その費用で十二萬圓の仕事をさせ、その代り費用全部は前渡しとし、殘額一萬圓は後日の爲に保管しておくが宜い』

と、細かいところを示して呉れた

この建物は築地の一角に建られ、都人士の目を驚かしたが、後年大震災にあつて倒潰し、今はその影すら止めてゐない

株ハ一株ヨリ、債券ハ一枚カラ賣買致シマス。
友部株式店
平町三丁目　電話一七七番

廣告
天下一品マヅイ　素人料理
おでん　榮ちやん
酒にやき鳥　冷ビールにサイダー
平・新田町・電三三番

前田醫院
院長　前田淸美
植田町電話一二四

夜間診療
胃腸性病
內科　胃腸病科　花柳病科　性病科　皮膚科
專門
（見習看護婦募集）
松村胃腸性病科醫院
（平町南町電話一〇七番）

男、女學生夏服
其他漸新及一般夏服特賣
洋服は高島屋
注文並に既製品
高島屋洋服店
平町二丁目電話三八六番

急告
豆タク！　豆タク！　豆タク！　の出現
春のドライヴに、商用に
迅速　低廉　市內三〇錢　市外地普通料金四割引
鈴木自動車豆タク部
四丁目　電話二一七

生花敎授
池ノ坊
生花を懇切丁寧に御敎授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

植田の新名所
鮫川川口に位置し四季の風光に富み眼下に太平洋を見晴し、白砂に綠の松林は實に天下の絕勝地の定評あり交通の最も便宜の位置にある鴨の湯鑛泉へ！
常磐線植田驛下車
…鴨の湯鑛泉旅館…
臨海館
植田町より十餘丁（自動車ノ便アリ）
鮫川橋より當館迄は（モーター舟）の連絡貸ボートあります。

一家に一瓶　新時代の家庭常備藥
水むしに
小さな怪我　創傷　腫物　蕁麻疹　とびひ　皮膚搔痒症　しらくも　いんきん　たむし　はたけ　乾癬
強力殺菌消毒最新藥
ホシマーク
小さな傷から丹毒・ワイルスル病・破傷風の如き大きな不安が生れる
本劑の殺菌消毒力は過酸化水素水・ヨヂウム丁幾等それぞれに優り、深達性强力にして且つ塗布面の組織を腐蝕せず
本劑のアメリカにて發見せらるゝや近代科學の驚異として迎へられ、忽にして全米を風靡し、わが國に於ても、醫家にありては既に各科に應用せられつゝあり新時代の家庭常備藥として推薦致します
藥價　〇・三〇
ホシ胃腸藥錠　〇・二〇　〇・五〇　一・〇〇　二・〇〇
ホシチヤコール錠　〇・五〇　一・〇〇
一般藥品　賣藥化粧品　醫療器械
福島縣平町三丁目三〇
星チエンストア平ヶ部
ホシ藥舖
電話四二九番

空には煙火水に燈籠
闇に躍る光の交錯美
冷涼の夜を鎌田橋畔賑ふ

愈よ明夕

盃疲れの平人士に一味の涼快を投ずる鎌田の燈籠流しは愈々明五日に迫つた經費の關係で一時は存廢の岐路にさへ立つたのを、折角ここ迄覆り出したものを――と熱心な一部存置論者の張り込みから無事踏襲する事になつた直後丈けに却つて反射的の盛况を呈するではないかと豫想される。爽涼の風が川面に激灔の波を描く頃から灯ともし前後へ掛けて出盛る觀衆は恐らく兩岸の堤防を埋めて腐朽しかけた橋上からの見物は差止められる事であらう、闇の水面を汇ろエメラルド。の形容も事古りたれ、夜空高く炸裂する煙火と天地相呼應する光の交錯こそ夏井川畔の此の宵ならでは見られぬ初秋の夜の景物詩である。本町邊から掛けて野々曳きの群衆に、明夜の鎌田附近は再たも交通整理を要する程の賑ひを呈する事であらう するもの、盛會を豫想されてゐる

。。。。。鹿島組頭更迭　鹿島村消防組頭佐藤米治氏は此程家事上の都合で退職、後任は三日付鈴木一男氏に決定

蛭田川改修
愈よ近く着工

今年度工費七萬五千圓で着工する事になつてゐた蛭田川改修は昨三日縣土木課から金澤技師が來郡、小林平土木監督所長と種々工事上の打合せをした上愈よ近く本格的工事に着く運びとなつた

石城梨子の輸送
出荷シーズンに
鐵道で特別扱

指導と自覺とにより名產『石城梨子』の聲價は年々高められ販路も各方面に開拓されてゐる、今年も愈よその出荷シーズンに入つたので鐵道では來る十五日から十一月一杯を輸送特別取扱期間として種々便宜を圖り一層名產の販路を廣めようと昨三日午前十時から平驛樓上に郡內關係者五十餘名を招きこれが輸送方法其他に關し懇談を交した

今年は例年に比し出來がよいので平驛當局でも昨年の千四百四十七トンより二割增しを豫想して意氣込んで居る

四倉に保護組合
郡下四ケ町村に 指導員十六名配置

出稼奬勵

縣は東北振興事業の一として政府より配置された出稼奬勵費をもつて婦女子、青少年等の出稼者多き町村を選びその大字部落を單位に出稼指導員を設置する出稼保護組合を設けて左の事業を行ふことに決定し、指導員には方面委員その他社會關係の名譽會員を知事より囑託することになつた

一、出稼の奬勵
二、適職の斡旋
三、出稼者の出郷前に於ける指導
四、出稼者及其家族の慰安保護
五、婦女の身賣防止並就職資金貸付に關する斡旋
六、其他出稼保護に關する必要なる事項

郡下の同組合は四倉町一ケ所に設けられるが指導員配置町村左の如し

△上遠野村△田人村外三ケ村組合△永戸箕輪村組合△四倉町各四名

需要期を控へ
各炭礦で坑夫募集
紹介所斡旋に大童

郡內各炭礦では愈よ需要期を前にして今その準備に忙しい、好間村小田炭礦萩原礦業所ではこれに備へて此程平職業紹介所に坑夫百名の大量斡旋方を依賴して來た

十八才以上五十才迄、世帶者には無料社宅を貸し獨身者は合宿所と云ふ好條件、尙勿來町大日本炭礦でも最近湯本紹介所へ同樣大量斡旋方を依賴したと

郡第三區兒童籠球
愈よあす兩校庭で

郡第三回兒童籠球大會は愈々明五日午前八時から平第一、同第二兩校庭に開かれるが出場は同區十六校の尋高男女各一組で優勝組は來る十二日の郡下同上に出場

下郡
養蠶家の懷ろに轉げ込んだ八十兩
今春繭の景氣話し

未曾有の高値を示して蠶家を喜ばした郡下に於ける今春繭の景況は昨三日縣から發表された――これによると收繭高は八萬三千九百五十三貫でこの價額が三十七萬七千六百六十六圓昨年に比し收繭高が六分二厘、價格が三割八分六厘の何れも增で養蠶戶數が四千四百五十五戶だから一戶當りの收入は八十四圓七十八錢弱となるわけだ

小濱港災害復舊竣功　植田町成瀬組請負に係る同町小濱港災害復舊工事は三千六百圓の豫算で愈々昨三日竣功したが五ケ所の砂防堤完備と共に地元漁業者の被る利益絶大なるものあり今後の發展を期待されて居る

。。。。。。植田町豫行演習　植田町では來る八日午前七時半より町を擧げて左の六班に別れ豫行演習を擧行すると
一、警報　二、警護　三、防火　四、交通整理　五、救護　六、配給

日立製作見習工採用　平職業紹介所扱ひの日立製作所見習工希望者五十七名に對する採用試驗は昨三日午前九時から平第一校講堂で（國語、算術、テストの三科目）行はれたが、約半數採用される見込みで七日發表される

先生の命令一下！
『防空』の活動開始
平町三小學のプロ決る

平町三小學校では一昨二日第一校に來る防空演習に關し小學校の參加に關する計劃委員會を開いたが

學校講話　學級講話　展覽會　ポスター製作　學藝會

等により兒童の思想涵養に努める外、綴方、手工、書方等の兒童作品及び印刷物を持歸らしめて家庭に趣旨を吹き込む、又演習當日は防護團と同樣計劃、警護、警報、防火、避難、救護の各係を設けて豫行演習の十日は午後七時迄、十一日午前七時から十二日の午前十時迄各執務して兒童避難、御眞影奉護、校舍內外の警護を實施する、なほ第一校職員は今四日午後同校庭の西部防護團動作指導を見學した

愛國婦人會首腦部は昨三日午後からから町會議事堂に參集、各防護團への配屬其他につき協議した

平醫師團役員打合　平醫師團では昨三日午後六時より大貞に於て懇親會を開いたが出席者三十餘名、席上四家少佐の防護團に關する講演あり了つて當日の役員打合せを行つた

婦人の力で防空　三團体聯合で

『婦人の力で空を護れ』と來る防空演習に參加の平町國防婦人會、女子青年團、

清田檢事
明午前八時廿分發赴任

平檢事局から盛岡地方檢事局へ榮轉の檢事清田一郎氏は明五日午前八時二十分發にて赴任する

平均値四圓台を割る
きのふの四倉市場

四倉市場昨三日の取引は左の如く平均値は遂に三圓台に下落した

出廻八八五貫、高四圓三八錢　安三、七五　馴四、〇七　掛目三三

炭礦地帶に巢喰ふ
不良五人男檢擧
日本刀、匕首等で恐喝

舊盆に際し內郷村炭礦街を中心に兇器を所持せる不良團が出沒してゐたのを平署で探知し昨夜同村宮無職安邊定吉(二八)渡邊直次(一九)遠藤一(二〇)山崎馨(一八)佐藤一二(一九)－何れも假名－の五名を檢玉に擧げた

同人達は仕事にあぶれて今年六月頃からぐるになり日本刀或は匕首等物騷なものを所持しては暴行恐喝を働いてゐたものである

久和植田署長巡回講演　植田警察署では來る十一、二日の縣下防空演習に先立ち昨三日午前十時より管內の警報班長會議を、同午後一時より同交通整理班長會議を行つた外久和署長は同日から六日迄左記日割により管內各村小學校を會場として右に關する巡回講演中である、四日山田、錦（植田署）五日田人、上遠野、入遠野（上遠野）六日渡邊、泉（泉）

福田蘭童の兄弟々子
『鶴風』宿料を踏む
平署で得意の一曲

福田蘭童の兄弟弟子が宿料を踏んで平署に突き出された

東京市品川區大井鮫州町橫濱高工尺八囑託教諭田健藏(三九)で夏休中向島區寺島二丁目石田貢經營の強壯劑販賣業帝國營生會の外交員に雇はれ外三名と共に最近郡內に入り込み植田町綠川鑛泉或は平町六丁目熱心湯旅館に泊り込んで出張販賣をやつてゐたが賣れ行きが惡くて支拂ひに窮し去る一日遂に平署に突き出されたもの

同人は尺八の大家川瀨竹友師の弟子で鶴風と稱しきのふ釋放に先き立つて朗々一曲披露に及んだ

勿來のチフス終熄
數名の現在患者も 兩三日中退院の見込み

海水浴季中の患者續出に一時町當局を憂慮せしめた勿來町本年のチフスも昨今漸く下火となり入院患者も目下三、四名となり、それも四、五日中には退院の見込みで勿來町民は勿論關係町村ではやうやく愁眉を開くに至つたと

獨乙文學の聖地
ワイマールから
松野尾繁雄氏通信

ワイマールに遊び、ゲーテ、シルラーを偲んでゐます

小生の泊つた宿ヱブプリンツは偶然にも千七百年代からの建物でワイマール侯とその一黨、ゲーテ、シルラー由緒の建物でした

ナポレオンが千八百七年七月二十三日午後二時ワイマールに入つて馬をとりかへるため休んだと云ふ室もあります。奈翁がゲーテを愛讀したことは御承知の通りであります

往時を追憶し、今ハーゲン●クロイツの翻るナチスの街ワイマールを眺め感慨なきを得ません

八月十八日　ワイマールにて　松野尾生

〔註〕ワイマール（WEIMAR）は獨乙聯邦チューリンギャの首都、もとザクセヴァイマールの大公國の首都であつた所、エルベ河の上流イルムの河谷に臨んで風光明媚、鐵道の交會點に當り出版業盛んである、嘗つてゲーテ、シルレル、ヘルデン等此地に住み、ドイツ古典文學の中心をなした所で、現に之ら文藝の遺物、記念碑があり、獨乙文學の聖地となつてゐる、人種學上及び考古學上の參考品を收藏する博物學博物館の外リスト博物館、ゲーテ博物館等がある

偉なる哉
少年薩摩守
漫畫迄入れて天才?に呆れる
上遠野村の飛んだ小伜

只乘りの天才上遠野村農熊谷猪之松三男圓三（一四）が六月三十日に九歲この方何回目かの家出をして東京驛までたゞ乘り今度は橫濱までハイク、橫濱から『燕』で名古屋へいき、今度はトラックで四日市へ、そこから汽車で大阪へ行き歸りは飛行機に乘つてやらうと、汽車で濱松まで、ところもあらうに濱松飛行隊をとねらつてゐたが嚴重な警戒ではたさず、しようがないと濱松から二三等臨時急行上り列車に乘りこみ去月卅日の夕方燒津驛附近を進行中、ドアの外にぶら下つてゐる處を發見された＝と云ふ稀有の只乘り事件は最近東京新聞縣版にも大にその天才振りを紹介されたが發見地に近い名古屋新聞の如きは只乘りのコースに當の少年を配した滑稽味橫溢の漫畫迄挿入して大々的に報道した。偉なる哉少年薩摩守ではある

天氣豫報　小名濱測候所觀測

今晚は南東の風驟雨模樣、明日は南の風曇一時晴

四名負傷
小川の自動車事故

今四日午前十一時頃小川—平間乘合自動車が上小川村地內を疾走中トラックと衝突、乘客の赤井村高萩白七文子(二二)五十嵐ミヨ(五三)田村郡大越村猪狩覺太郎(四三)外一名は腕、脚その他に各二週間程度の傷を負つた

狡い豆腐賣子起訴

平町南町會津屋方豆腐賣子福島市船場町生れ前科二犯丹野賢信(三九)は小名濱町古港印刷業綠安夫方に雇はれ中集金三十一圓餘を費込み、又去月中平町播槌小路新田目善次郎方外二ケ所の各窓口から金時計、洋傘その他雜品數點（價格合計約十五圓）をちよろまかし送檢されたが今四日起訴され近く平區で野木判事氏家檢事係り公判開廷する

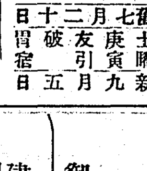
横領集配手
國から附帶私訴

平町材木町三六手永戸村上永井生れ菜谷定行(三五)が平局に雇はれ中簡易保險料金百五圓四十五錢を費ひ込んだ業務上橫領事件は近く平區で公判開廷されるが仙台遞信局長森川美之助氏は『國』を代理して辨濟殘金四十八圓廿三錢請求の附帶私訴を提起した

酒店員入用
二名 自轉車に乘り得るもの（青年、壯年各一名）
住込み、通勤、給料等面談の上
姓名在社

五日（小名濱測候所發表）
日出 五、二一　月出後 八、〇三
日沒 六、〇〇　月沒前 九、一四
滿潮前六、〇五 後五、四〇　干潮前 一二、〇〇

舊七月二十日 土曜 新九月五日 庚寅 友引 破 胃宿



諸判定廳翁　東京市本郷區湯島四丁目　高島易斷總本部　神誠舘

▲一白 巢を立たざれば爲もうたれまじ守靜肝要▲二黑 慾望の大なるに過ぎて却て損失を招くべし▲三碧 ちうちよするは好ましからず自信を決行すべし▲四綠 妄想を去り苦より樂に入らんと心掛くべし▲五黃 萬の如く運び難き日氣折れは更に甲斐なし▲六白 圓轉くわつだつにして人と交りを結べば次第に吉▲七赤 小事とあなどりて油斷すなありの穴より堤もくづる▲八白 氣ずゐを慎しみ營業を堅く守りて安全を謀れ▲九紫 巧言を退け分を守りて精勵すれば功果揚る

廣告

高久病院
院長 高久忠
平町田町電五一三

井坂產科婦人科醫院
平町田町
電話 五五九番

公社債株式現物賣買
照山株式平支店
主任 常盤光威
福島縣平町田町五
振替東京八八一六一番
電話四十六番

小店員募集（十五、六才）
委細面談

美味デ滋養分豐富ナにんべんノ
新鰹魚節ガ出來マシタ。
宍戸屋商店
平町四丁目
電話（鹽干部）二一五番（鮮魚部）四〇七番

日華生命保險株式會社代理店
外務社員募集（委細面談）

御挨拶
殘暑を迎へます折柄謹みて皆々樣の御健康を御祈り申上げます。
扨て私儀水野化粧院を開設致しましてから恰度今年で七周年を迎へました。
微力の私共では到底過し得ざる永い歲月で御座いますが、これ偏に皆樣の御引立によるたまものと厚く御禮の言葉を申述べる次第で御座います。
今度これが記念と、皆々樣への一層の御努めのために オゾン 理容器一台を備へつけました。
この理容器具は近代美容術の機械化で御座いまして御使用後の御滿足は更めて申迄もない事と固く御誓ひ致す次第で御座います。是非一度御試しあられます事をお願ひ致しますと共に七周年を迎へるに當り御贔負の皆々樣方に御挨拶申上げる次第で御座います。
昭和十一年九月
平驛前 **水野化粧院**
主 水野多子
電話 營業所 平驛前 六七八番
自宅 四軒町 水野商店 五二五番

建築請負
同用材
製材
各國銘木
秋山材木店
店主 秋山市造
植田町 電話六二番
御得意の皆樣方に